

安心院の風景「安心院温泉からの眺め」



安心院・本町通りでは、毎年「鰻絵花まつり」を開催しています



このコーナーでは、小学校区単位（地区）でまとまって地域活動に取り組む「地域コミュニティ組織」をご紹介します。



安心院地区まちづくり協議会

みんなで築こう！心安らぎ 輝くまち 安心院

みんなで楽しくそうめん流し



安心院地区まちづくり協議会は、今年で設立から10年を迎えます。地域には魅力的な歴史や文化に加え、小・中・高等学校がそろっているほか、たくさんの事業者さんもいて、それぞれの人たちがまちづくりに参加しています。これまで地区のお祭りや清掃、子どもたちとのそうめん流しのほか、安心院の七不思議を巡るウォーキング大会など

地域で協働、それぞれが
主役のまちづくりへ

活動の一部をご紹介します

どを開催しており、年々参加者も増えています。昨年度は、さらに地域から必要とされる協議会を目標に、これまでの振り返りと活動計画の更新を行い、これらの10年は「健康と福祉」「子育てと教育」「安心と安全」の3つを軸に実践的な活動を行う予定です。地域内のボランティア活動には、ポイント制度も導入しましたので、ぜひご参加ください。

秋のウォーキング大会！



会長
中原さん

安心院の散策
おすすめスポット

地域を見渡せる展望台&ワイナリー

家族旅行村「安心院」の展望台やワイナリーから眺める景色は季節の移り変わりが感じられ、ぶどうの香気に包まれながら散策を楽しむこともできます。昨秋開催したウォーキング大会でもぶどう畑を望むコースは大好評でした。他にも、施設内にはレストランや温泉、キャンプ場など家族で楽しめるスポットが満載です。



問合せ／まちづくり推進課 コミュニティ係（☎ 27-8237）

ここに江戸時代の化粧まわし姿の錦絵があります。力士の名は御用木雲右衛門（以下、御用木という）。御用木は文化6年（1809年）、宇佐市下乙女に生まれました。西国郡代・塩谷大四郎の目に留まり、江戸の玉垣額之助に弟子入り。身長188cm、体重120kg「天下無双の大力士」という名声を得ました。昭和の大横綱・双葉山より百年も前の話です。



錦絵（県立歴史博物館所蔵）

同居していた御用木も巻き添えを食い、頭部や顔面など21針を縫う大けがを負った」とのことです。事件の後遺症は大きく、その後、成績は下降気味となります。

安政3年（1856年）、中津で開催された相撲興行で小結の番付表が残っており、引退後は故郷で悠々と過ごしたとのこと。明治に入り出身地に立派な顕彰碑が建立されるとともに、寺には今も墓が残っています。なお、本テーマは故河野康臣氏から執筆依頼を受けておりました。謹んで本稿を捧げます。

平和ミュージアム（仮称）開館に向けて
kioku wo tsunagu

記憶をつなぐ

このコーナーでは「宇佐市平和ミュージアム（仮称）資料館」の開館に向け、これまで収集した資料や今に残る戦争遺構にまつわる「記憶」を紹介していきます。

37 雑誌「航空少年」「飛行少年」

戦時中の少年向け雑誌です。戦時中の男の子は、将来は兵士になることが当たり前で、その中でも航空機の搭乗員は憧れの的でした。

誌面では、航空機の構造や空戦の方法など専門的な内容や予科練生の訓練の様子まで掲載され、男の子たちはこのような雑誌を通して陸海軍の航空兵に志願する気持ちを募らせていました。



■ 戦争関連資料を収集しています。提供していただける方は社会教育課 文化財係（☎ 27-8199）にご連絡ください。資料は平和の尊さを学ぶために活用いたします。

問合せ 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室（☎ 27-8200）